

**平成 21（2009）年度**  
**一橋大学国際・公共政策大学院**  
**専門職学位課程**  
**外国人留学生特別選考 募集要項**

一橋大学は、「日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的、文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成することを使命」（一橋大学研究教育憲章）とし、創立以来、国内のみならず国際的に活躍する、多くの有為な人材を輩出してきました。今日では、国際社会・国家・地域・企業・個人等、あらゆる場面において競争が激化するなかで、職業に必要とされる専門性がますます増大しています。専門職大学院である国際・公共政策大学院では、法律学・行政学、国際関係、経済学のいずれかの専門領域の分析方法を習得しつつ、隣接分野の視点も取り入れ、現実の諸問題に実践的に取り組み、政策を世界に発信できるプロフェッショナルな人材の育成をめざしています。

このような目標を達成するために、本大学院は、上記の専門領域の分析方法を体系的に習得する強い学習意欲をもち、また講義等を理解し、討論にも積極的に参加できる日本語能力を有し、さらに将来は日本での留学経験を活かして国際社会のさまざまな場で活躍することをめざす留学生を受け入れるための入試を実施しています。

## 1. 募集人員

プログラム	募集人員
グローバル・ガバナンス・プログラム	若干名

（注）一般選抜および社会人特別選考については、別途募集要項があります。

## 2. 出願資格

入学時点において、日本滞在期間が2ヵ年以下の者で、つぎの各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び平成 21 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了し、B.A.又は B.S.を取得した者及び平成 21 年 3 月までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 21 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (6) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び平成 21 年 4 月 1 日までに 22 歳に達する者
- (7) 所定の手続により、本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（注）出願資格(5)(6)(7)による志願者は、7 月 4 日(金) までに国際・公共政策大学院事務室へ出願資格について書面で問い合わせてください。

### 3. 出願書類

書類等		提出者	摘要
入学志願票		全 員	所定の用紙に必要な事項を記入し、写真を添付してください。
卒業(見込)証明書	全員	上記出願資格(1)による出願者	出身大学の学長または学部長が作成したもの。ただし、卒業見込の者は卒業見込証明書をもって代えます。 なお、本学卒業(見込)者は、成績証明書をもって代えます。
		上記出願資格(2)(3)(4)による出願者	B.A.または B.S.を有する証明書。ただし、卒業見込の者は卒業見込証明書をもって代えます。
成績証明書		全 員	出身大学等の学長または学部長が作成したもの。
研究計画書 提出部数 3部 (正本1部、副本2部)		全 員	以下の3点について、日本語の場合全部で 1,600 字程度、英語の場合全部で 1,000words 程度にまとめてください。 ① 従来の勉強の成果 ② 入学後のテーマ ③ 修了後の進路希望
「TOEFL」または「TOEIC」の成績証明書		英語を母国語としない者	平成 18(2006)年 9 月以降に受験した TOEFL または TOEIC の公式の成績証1通(TOEFL の場合は Official Score Report、TOEIC の場合は Official Score Certificate)を提出してください。IP TOEIC 及び IP TOEFL のスコアは不可です。TOEFL の成績証は試験実施機関である ETS から大学に直送されるよう手配してください。TOEFL の成績証送付のための Institution Code は 0436、Department Code は 80 です。
日本語能力を証明する書類	日本語能力試験の成績証明書	日本語能力試験等受験者	平成 18(2006)年 9 月以降に受験した①または②を提出してください。どちらの提出もできない場合に限り、これに代えて「日本語能力評価票」を提出してください。 ①日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」の成績証明書 ②日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験(2 級以上)の「認定結果および成績に関する証明書」 日本の大学を卒業(見込)または日本の大学院を修了(見込)の者は提出不要です。
	日本語能力評価票(A票およびB票)	日本語能力試験等未受験者	
推薦書 3通		全 員	3 名からの推薦書(日本語または英語で書かれたもの)が必要です。決まった書式はありません。厳封したものを提出してください。
登録原票記載事項証明書		全 員	市区町村長が交付したもの。外国人登録を済ませていない場合は、パスポートのコピーを提出してください。
受験票送付用封筒		全 員	定形封筒(長 3 号:官製はがきが入る大きさ)に、簡易書留相当分(430 円)の郵便切手を貼り、受験票送付先の住所・氏名を明記してください。
入学検定料振込明細書の写し		日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く全員	所定の用紙に糊で貼ってください。
日本政府(文部科学省)留学生証明書		日本政府(文部科学省)奨学金留学生	所属する大学が発行したもの

(注)提出書類の中に英語以外の外国語で書かれた証明書、文書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。

#### 4. 入学検定料

(1) 日本国在住の者： 銀行振込により納入してください。

入学検定料の額： 30,000円

納入方法： 銀行振込により納入してください

振込先： 銀行名・支店名 「三井住友銀行国立支店」

口座名義 「国立大学法人一橋大学国際公共政策教育部検定料口」

口座種別・口座番号 「普通預金 7761831」

(2) 日本国外に在住の者： 一橋大学のホームページからクレジットカード決済により納入してください (<http://www.hit-u.ac.jp/admission/index.html>)。

(注) 日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生 (研究留学生) は、検定料は不要です。所属大学が発行する留学生身分を証明する書類を提出してください。

#### 5. 出願方法

志願者は、入学検定料を納付したのち、上記の出願書類を一括し、郵送 (書留郵便) により提出してください。書類を持参しての出願は受け付けません。封筒の表面左下に「国際・公共政策大学院グローバル・ガバナンス・プログラム出願書類在中」と朱書きしてください。

出願期間： 平成20年8月28日 (木) から平成20年9月3日 (水) まで (期間内必着)

願書の送付先： 〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地  
一橋大学国際・公共政策大学院事務室

#### 6. 選考方法および選考基準

書類審査により合格者を決定します。選考においては、専門知識のほか、問題発見能力、分析・統合能力、理論的思考力および記述力等を審査します。

#### 7. 合格発表

発表日時： 平成20年10月1日 (水) 13時00分

掲示場所： 国立西キャンパス大学院掲示場および東キャンパスマーキュリータワー3310室前掲示  
国際・公共政策大学院のホームページ【<http://www.hit-u.ac.jp/IPPP/>】にも掲載します。

#### 8. 入学手続き

(1) 入学料の納入期間

平成21年3月9日 (月) から3月13日 (金) まで

この期間内に納入がない場合は、入学辞退者となります。

ただし、日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生 (研究留学生) は、入学料は不要です。

(2) 入学料の額

282,000円

(3) その他

入学手続きに必要な書類とその提出方法については、合格者に改めて通知します。

授業料（年額535,800円）については、入学後に納入することとなります。納入時期・納入方法については改めて通知いたします。納入金額は予定額であり、在学中に学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納入金額が適用されます。

なお、本学には入学料および授業料の免除・徴収猶予の制度がありますが、免除実施枠は僅かですので、入学料・授業料納入の準備は十分に行っておくようお願いします。

## 9. 注意事項

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて国際・公共政策大学院事務室で行います。
- (2) 出願書類及び検定料は返却いたしません。また、各種証明書は、特別の指定があるものを除き、必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。
- (3) 日本滞在が2ヵ年を超える者は、「一般選抜」または「社会人特別選考」により出願することができます。一般選抜および社会人特別選考については、別途募集要項を配布しています。
- (4) 志願者が記入する書類には、すべてワープロまたは黒のボールペンを使用してください。
- (5) 身体機能に障害があり、受験時や入学後の学修に特別の措置を必要とする志願者は、その旨を出願前に国際・公共政策大学院事務室に申し出てください。申し出にしがたい、所要の措置を講じます。なお、この申出によって不利益を被ることはありません。
- (6) 入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。
- (7) 入学試験に関する照会は、書面（手紙、ファックスまたは電子メール）により行ってください。電話による問い合わせには応じられません。

【問い合わせ先】 一橋大学国際・公共政策大学院事務室

所在地： 〒186-8601 東京都国立市中2-1

FAX： 042-580-9085

E-mail： info\_ipp@ad.hit-u.ac.jp

受験 番号	*
----------	---

外国人留学生特別選考

平成 21 (2009) 年度 一橋大学国際・公共政策大学院 専門職学位課程 入学志願票

志望プログラム		グローバル・ガバナンス		<b>写真添付欄</b> 1. 最近3ヶ月以内に撮影 2. 正面向き上半身無帽 3. 縦4cm×横3cm 4. 裏面に氏名を記入		
氏 名	(フリガナ)	生 年 月 日	(西暦で記入)			
	英 字 表 記	性 別	男 ・ 女			
_____, _____ Family Given Middle						
連 絡 先	現住所： (〒 - )			国 籍		
	電話番号：(自宅) (携帯)					
E-mail :						
学 歴 (小学校入学以降の学歴を年代順に記入してください。)						
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
年 月					□入学 □卒業 □その他 ( )	
職 歴						
期 間		勤 務 先 名		職 務 の 内 容		
年 月	～ 年 月					
年 月	～ 年 月					
年 月	～ 年 月					

記入上の注意 (1) \*欄には記入しないでください  
 (2) 日付は西暦で記入してください。  
 (3) 学歴および職歴の記入欄が不足する場合は、別紙に記入してください。

外国人留学生特別選考

受験番号	*
------	---

平成 21 (2009) 年度

一橋大学国際・公共政策大学院 専門職学位課程 入学検定料納入控

志望プログラム  グローバル・ガバナンス
----------------------------

氏名	(フリガナ)
----	--------

入学検定料振込明細書の写しをのりで貼ってください。  
日本政府（文部科学省）奨学金留学生（研究留学生）は、この書類を提出する必要はありません。

外国人留学生特別選考

受験番号	*
------	---

平成 21 (2009) 年度

一橋大学国際・公共政策大学院 専門職学位課程

## 研 究 計 画 書

志望プログラム

グローバル・ガバナンス

氏 名	研 究 テ ー マ

(研究計画書作成上の注意)

1. A4版の用紙を使ってください。
2. 研究計画書は3部作成してください。それぞれに表紙（このページ）をつけ、左上1か所をホチキスでとめてください。
3. 研究計画書のまとめかたは、募集要項の「3. 出願書類」を参照してください。

## 日本語能力評価票A (自己評価) Self-evaluation

### (1) 読む力

- a. 日本語のしんぶんはぜんぜん読めない。(I cannot read Japanese newspapers at all)
- b. 辞書を使えば、日本語の新聞が少し読める
- c. 辞書を使えば、日本語の新聞がだいたい読める
- d. 辞書を使わなくても、日本語の新聞がだいたい読める

### (2) 漢字

- ア. 読める漢字(Number of Kanjis I can read)
- a. 0~100字
  - b. 101~600字
  - c. 601~1500字
  - d. 1501字以上
- イ. 書ける漢字(Number of Kanjis I can write)
- a. 0~100字
  - b. 101~600字
  - c. 601~1500字
  - d. 1501字以上

### (3) 聞く力

- a. やさしい日本語を聞いてもほとんどわからない。(I can hardly understand spoken Japanese)
- b. やさしい内容の日本語をゆっくり話してもらえば50%以上分かる。
- c. 日本語のニュースを一回聞けばだいたいわかる。

### (4) 話す力

- a. あいさつなどしかできない。(I only know easy greeting expressions)
- b. 日常的なテーマについて少し会話ができる。
- c. 自分の専門について簡単な議論ができる。
- d. 幅広いテーマについて自分の意見をまとめながら議論ができる。

### (5) 書く力

- a. 日本語がほとんど書けない。(I can hardly write Japanese)
- b. 基本的な単語や表現を使って、だいたい正しい文章が書ける。
- c. 辞書を使い、時間をかければ、自分の専門について考えをまとめることができる。
- d. 辞書を使わなくても、自分の専門について考えをまとめることができる。

(6) 専門書を日本語で読んだ経験 : a. ない b. 少しある c. 何回もある

(7) 専門書を日本語で読む必要 : a. 必要ない b. 少し必要 c. 大いに必要

### (8) 学習期間 :

- ① \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日~\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ( \_\_\_\_\_時間/週) (クラス授業/個人レッスン/自習)
- ② \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日~\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ( \_\_\_\_\_時間/週) (クラス授業/個人レッスン/自習)
- ③ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日~\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ( \_\_\_\_\_時間/週) (クラス授業/個人レッスン/自習)

### (9) 使用教科書

- ① \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 課~ \_\_\_\_\_ 課)
- ② \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 課~ \_\_\_\_\_ 課)
- ③ \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 課~ \_\_\_\_\_ 課)

### (10) 日本での滞在経験

- ① \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日~\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ホームステイ/学校/その他 ( \_\_\_\_\_ )
- ② \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日~\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ホームステイ/学校/その他 ( \_\_\_\_\_ )
- ③ \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日~\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 ホームステイ/学校/その他 ( \_\_\_\_\_ )

(11) 日本語能力試験 \_\_\_\_\_級 \_\_\_\_\_点 ( \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月 受験)

\_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

氏名 (Name) \_\_\_\_\_



日本語能力評価票 B (日本語教師などが記入)

申請者氏名： \_\_\_\_\_

(1) 読む力

- a. 日本語のしんぶんはぜんぜん読めない。
- b. 辞書を使えば、日本語の新聞が少し読める
- c. 辞書を使えば、日本語の新聞がだいたい読める
- d. 辞書を使わなくても、日本語の新聞がだいたい読める

(2) 漢字

ア. 読める漢字

- a. 0~100字    b. 101~600字    c. 601~1500字    d. 1501字以上

イ. 書ける漢字

- a. 0~100字    b. 101~600字    c. 601~1500字    d. 1501字以上

(3) 聞く力

- a. やさしい日本語を聞いてもほとんどわからない。
- b. やさしい内容の日本語をゆっくり話してもらえば 50%以上分かる。
- c. 日本語のニュースを一回聞けばだいたいわかる。

(4) 話す力

- a. あいさつなどしかできない。
- b. 日常的なテーマについて少し会話ができる。
- c. 自分の専門について簡単な議論ができる。
- d. 幅広いテーマについて自分の意見をまとめながら議論ができる。

(5) 書く力

- a. 日本語がほとんど書けない。
- b. 基本的な単語や表現を使って、だいたい正しい文章が書ける。
- c. 辞書を使い、時間をかければ、自分の専門について考えをまとめることができる。
- d. 辞書を使わなくても、自分の専門について考えをまとめることができる。

(6) 専門書を日本語で読んだ経験： a. ない    b. 少しある    c. 何回もある

(7) 専門書を日本語で読む必要： a. 必要ない    b. 少し必要    c. 大いに必要

(8) 日本語能力試験    \_\_\_\_級    \_\_\_\_点    ( \_\_\_\_年 \_\_\_\_月 受験)

◎ 評価方法 (いつ、どこで、どのような形で判断しましたか)

◎ 総合評価 (申請者は本大学院で修学できると判断できますか、該当箇所に✓して下さい。)

おおいにできる     かなりできる     できる     努力しだい     できない

記入日： \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

記入者： 所属 \_\_\_\_\_

役職 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_ 印 (署名) \_\_\_\_\_